

2018
11.1
No.132

あまなんぷ



海部南部消防署



ゴムボートでの救助・捜索活動

泥が堆積した道を進む水陸両用バギー

平成30年 秋季全国火災予防運動実施中 11/9(金)~15(木)

平成30年度 全国統一防火標語

忘れてない? サイフにスマホに 火の確認



海部南部消防組合 検索 [click](#)

発行 海部南部消防本部 愛知県海部郡飛島村大宝五丁目182番地 ☎(0567)52-0119

液状化現象を知ろう

1 浸水被害のメカニズムとは…

地震が発生すると、道路にヒビが入ったり、建物が壊れたりします。しかし、地震により被害を受けるのは目に見えるものだけではありません。

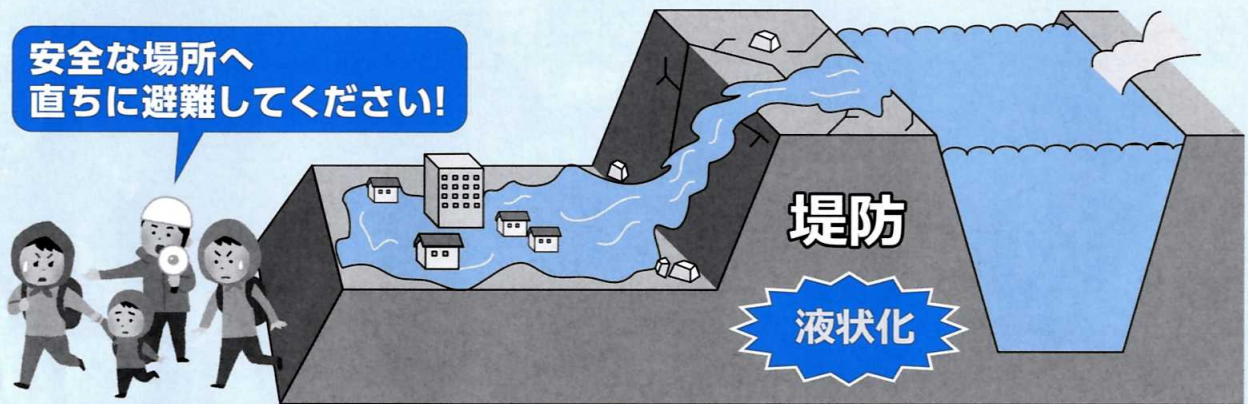
地震により地面に強い振動が加わると、地盤の沈下とともに、液状化現象が発生します。これは堤防の内部も例外ではなく、堤防内部が液状化すると、強度が低下し盛土の荷重を支えきれずに堤防が決壊し、浸水被害が発生してしまいます。

2 液状化現象とは…

地震が発生した際に地盤が液体状になることです。

地下水を含んだ土が揺さぶられると、土の粒が水に浮かんだような状態になります。その後、土の粒は下の方へ沈み、水が上の方へと分離します。そうなると、地上の地面が沈んだり亀裂の発生や、マンホールなどが浮き上がることがあります。また、砂混じりの水が噴き出すこともあります。

安全な場所へ
直ちに避難してください!



3 液状化現象が発生しやすい地域や土地とは…

当管内は、埋立地と海拔0m以下の地域であり、これらの低地平野部に住居や商工業等の様々な活動地域が展開されていることから、大きな地震や津波等が発生した場合には、甚大な被害が想定され、液状化現象が発生する可能性の高い場所になります。

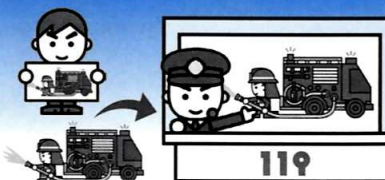
4 避難方法

地震と同様に液状化も発生タイミングを予測することは困難です。さらに液状化は地震の発生と同時に起こったり、時間の経過とともに発生したりと、地域の特性によって様々な現象が起こるため多種多様な被害が報告されています。液状化から避難するには、進行が急速でない限り地震の避難方法と同様ですが、この地域では安全を確保しつつできるだけ早く、安全な場所へ避難する必要があります。液状化が進行することで建物の倒壊や洪水のような被害が発生しないとも限りません。

これらのことから、災害が発生してからでは対応が遅れてしまいます。自分の住んでいる地域がどんな特性があるのかを知って、日頃から災害に備えましょう。

リアルタイム!

現場映像中継システム



近年、様々な震災、災害時における通信手段として、スマートフォン、タブレット等を活用した、災害現場映像をリアルタイムに通信できる現場映像中継システムが注目されており、海部南部消防署も導入しています。

災害現場(火災現場や救助現場)では、ドローンで災害現場の上空を撮影し、ライブ中継によって正確な情報収集が可能となり、災害現場の把握及び現場隊員の活動方針など具体的な指示をすることが可能となり様々なメリットが生まれ、効果的な活動と、安全管理に一役買っています。

